

F2-43

## 習志野市ハミングロードの歴史の変遷から捉えた基礎的研究

The basic research captured from historical transition in Narashino city “Humming road”

○木村 真梨子<sup>1</sup>, 小木曾 裕<sup>2</sup>  
Mariko Kimura<sup>1</sup>, Yutaka Kogiso<sup>2</sup>

Abstract: “Humming road” is main green road that play an important role in Narashino city, Chiba prefecture. “Humming road” utilized the site of Exercise line of railroad regiment, so it demonstrated that “Hummingroad” is of historic value. Also, it has many problems as city main green road and north-south axis of greenery and water.

### 1. はじめに

人口増加やヒートアイランド現象が生じている都市部において、緑地の造成や壁面緑化等、様々な形態で緑を活用した事例が増えている。また、既存の自然を保護する動きも散見される。千葉県習志野市にも、市を縦貫する幹線緑道『ハミングロード』があり、市にとって重要な役割を担っている。

一方で、千葉県習志野市は元々軍都であり、戦時中様々な施設が設置され、現在大学・高校等として活用されている場所が多く存在する。ハミングロードの一部も軍の施設の跡地を利用したものである。

ハミングロードの歴史の変遷から、どのようにしてつくられたのか、ハミングロードの実態を明らかにし、ハミングロードの今後の在り方や緑地・緑道形成の際の留意点等を検討するための基礎的研究を行うことを目的とする。

### 2. 研究方法

#### 1) 文献調査

習志野市の図書館にて、ハミングロードの歴史や鉄道連隊に関する図書を選出し、文献調査を行った。また、習志野市HPや緑の基本計画等も活用した。

#### 2) ヒアリング調査

習志野市都市環境部公園緑地課へハミングロードに関するヒアリング調査を行った。

1) 2) の調査により研究を行った。

### 3. 結果・考察

#### 1) 習志野市について

習志野市は千葉県北西部に位置し、船橋市・八千代市・千葉市・東京湾に接する市である。面積 20.97 km<sup>2</sup>であり、県内で4番目に小さい市でありながら、人口密度 8007.1 人/km<sup>2</sup>で県内3位となっており、人口が多い市であることが分かる。

また、昭和44年には多く点在していた緑も、ベッタウンとしての開発により減少していることが分かる (Figure1, Figure2)。

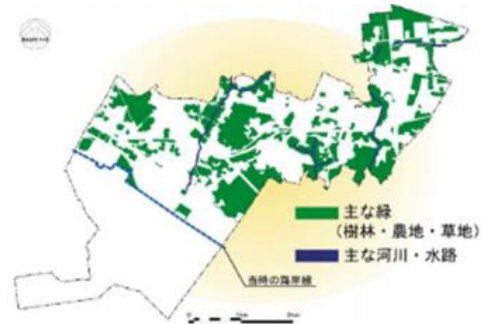


Figure1. Amount of green space at Narashino city in 1969

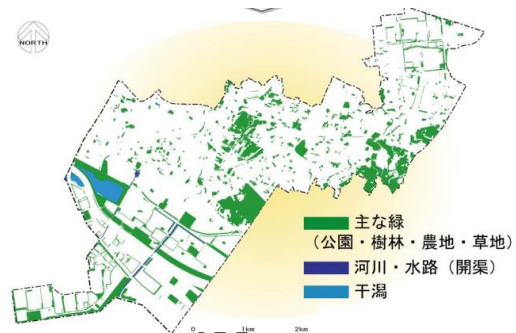


Figure2. Amount of green space at Narashino city in 2015

#### 2) ハミングロードについて

千葉県習志野市にあるハミングロードは、市の最北端部から中央部を縦断し、南部の東京湾まで続く全長 11.6 kmの幹線緑道であり、自転車・歩行者専用道として整備されている。市の最北端部をスタート地点とし、北から順に「マラソン道路」「サイクリング道路」「鷺沼台遊歩道」「鷺沼遊歩道(未整備区間)」「菊田遊歩道」「袖ヶ浦遊歩道」「秋津1号緑道」「茜浜緑道」の8区間にわけて整備されている (Figure3)。

「習志野市緑の基本計画」の中の緑地の配置方針の中で、ハミングロードは『緑と水の南北軸』に位置図けられており、市にとって重要性が高いことが分かる (Figure4)。しかし、こういった「緑と水の南北軸」「幹線緑道」とされているものの、ハミングロード全体が都市公園法における「緑道」とされているわけではなく、8区間中3区間の一部のみが緑道で、その他は習志野市道であることを捉えた。



Figure3. "Humming road" Map



Figure4. Placement policy of green space

### 3) ハミングロードの歴史

戦前、鉄道第二連隊が演習用に使用していた軌道敷きを昭和43年(1968年)に国から市が借り受け、自転車・歩行者専用道路として整備されたものが「ハミングロード」の一部である。

明治40年(1965年)10月に千葉県に移った鉄道隊は第一・第二大隊が千葉に置かれ、第三大隊は津田沼(現在の千葉工業大学)に移り、材料廠が設けられ、大正7年(1918年)10月、千葉に鉄道第一連隊と津田沼に第二連隊、津田沼-千葉間に訓練鉄道が敷かれた(Figure5)。軍事施設として、大正昭和と軌道敷の整備、鉄橋構築、軌道

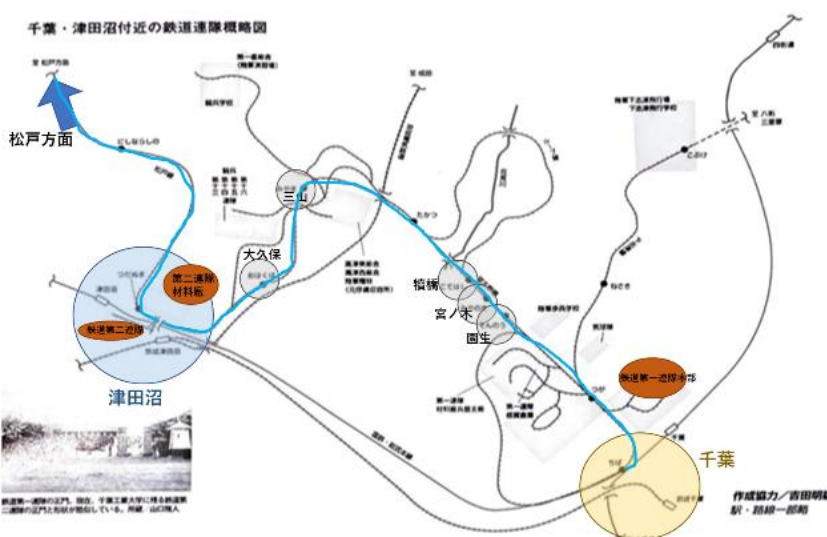


Figure5. Exercise line of railroad regiment between Tsudanuma and Chiba.

設置、運転の訓練に使われた。ハミングロードの北部「マラソン道路」「サイクリング道路」は、この演習線の跡地を活用して整備された道であることを捉えた。

この演習線は、当時は子ども達が兵隊達の演習、汽車を見ようと集まってきたが、終戦後には軌道敷地は荒れ放題となり、昭和27年(1952年)頃、大久保地元有志が軌道敷地に桜を植えるにあたり、役場に陳情して、地元で出資して千本桜の構想を打ち立てた。その後、昭和34年(1959年)、市は払い下げを申請し、再三協議を重ね、昭和43年(1968年)に正式に国から借り受ける契約を交わした。以上のようにハミングロードの一部はこの演習線を活用して整備された道であることが分かった。

また、「菊田遊歩道」については、菊田川を暗渠化した後を利用して整備された道であることが分かった。

### 4. まとめ

ハミングロードは鉄道連隊の演習線の跡地を一部利用していることから、歴史的価値が大きいことが分かる。また、市の幹線緑道としてや緑と水の南北軸としては、多くの課題点があると考えられる。都市公園法の「緑道」ではない区間が大半であること、幹線緑道・市の重要道(緑と水の南北軸)となっていることから、「緑道」になるにはどうしたらよいか、今後検討していきたいと考える。またそれと同時に、今後緑道を設ける場合どのような点に留意すべきかも含め、研究を行ってきたい。

### 参考文献

[1] 荒川章二(2015) 地域のなかの軍隊2 軍都としての帝都 吉川弘文館(東京) pp201

[2] 岡本憲之(2009) 実録鉄道連隊 知られざるその使命を解き明かす イカロス出版(東京) pp128

[3] 習志野市HP <https://www.city.narashino.lg.jp/citysales/shizen/walk/hamming/index.html>

[4] 習志野市緑の基本計画(平成26年改訂版) <https://www.city.narashino.lg.jp/joho/keikaku/toshikankyo/250420150626164022982.files/keikakushohopen.pdf>

[5] 「鉄道第二連隊」と演習線-津田沼・船橋 <https://smtrc.jp/town-archives/city/tsudanuma/p03.html>